

【証券コード：6728】

決算説明資料

2018年度（FY2018）

第3四半期（累計）（2018年7月～2019年3月）

2019年5月13日

株式会社 アルバック

2018年度第3四半期の連結業績についてご説明します。

◆**将来見通しに関する記述についての注意事項**

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社グループのお客様であるFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）・半導体・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆**本資料における表示方法について**

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

3Q（累計）： 第3四半期連結累計期間

3Q ： 第3四半期連結会計期間

2018年度3Q(累計)連結業績 まとめ

□ 受注高 1,736億円（前年同期比▲11%）

- 半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により前年同期比減少も、四半期ベースではFPD製造装置を中心に前年同期比・2Q比ともに回復

□ 売上高 1,689億円（前年同期比▲11%）

- 高水準であった前年同期の売上の反動及び半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により前年同期比減少

□ 営業利益 219億円（前年同期比▲26%）

- 売上高減少の影響等により、前年同期比減少

□ 2019年6月期の業績予想を修正

- 3Qに投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正

2018年度3Q(累計)連結業績概要

- 受注高：半導体メモリ関連の設備投資延期等の影響により、前年同期比減少
- 売上高：高水準であった前年同期の売上の反動及び半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により前年同期比減少
- 営業利益：売上高減少の影響等により、前年同期比減少

【単位：億円】

	2017年度	2018年度	
	3Q(累計) 実績	3Q(累計) 実績	対前年 同期増減率
受注高	1,952	1,736	-11.1%
売上高	1,902	1,689	-11.2%
売上総利益	572	506	-11.7%
率	30.1%	29.9%	-0.2 pt
販管費	274	286	4.4%
営業利益	298	219	-26.4%
率	15.7%	13.0%	-2.7 pt
経常利益	311	231	-25.6%
率	16.4%	13.7%	-2.7 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	253	173	-31.7%
率	13.3%	10.2%	-3.1 pt



4

FY183QPSN20180513J

© 2019 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

受注高は、半導体メモリ関連の設備投資延期等の影響により、1,736億円となり、前年同期比11%の減少となりました。

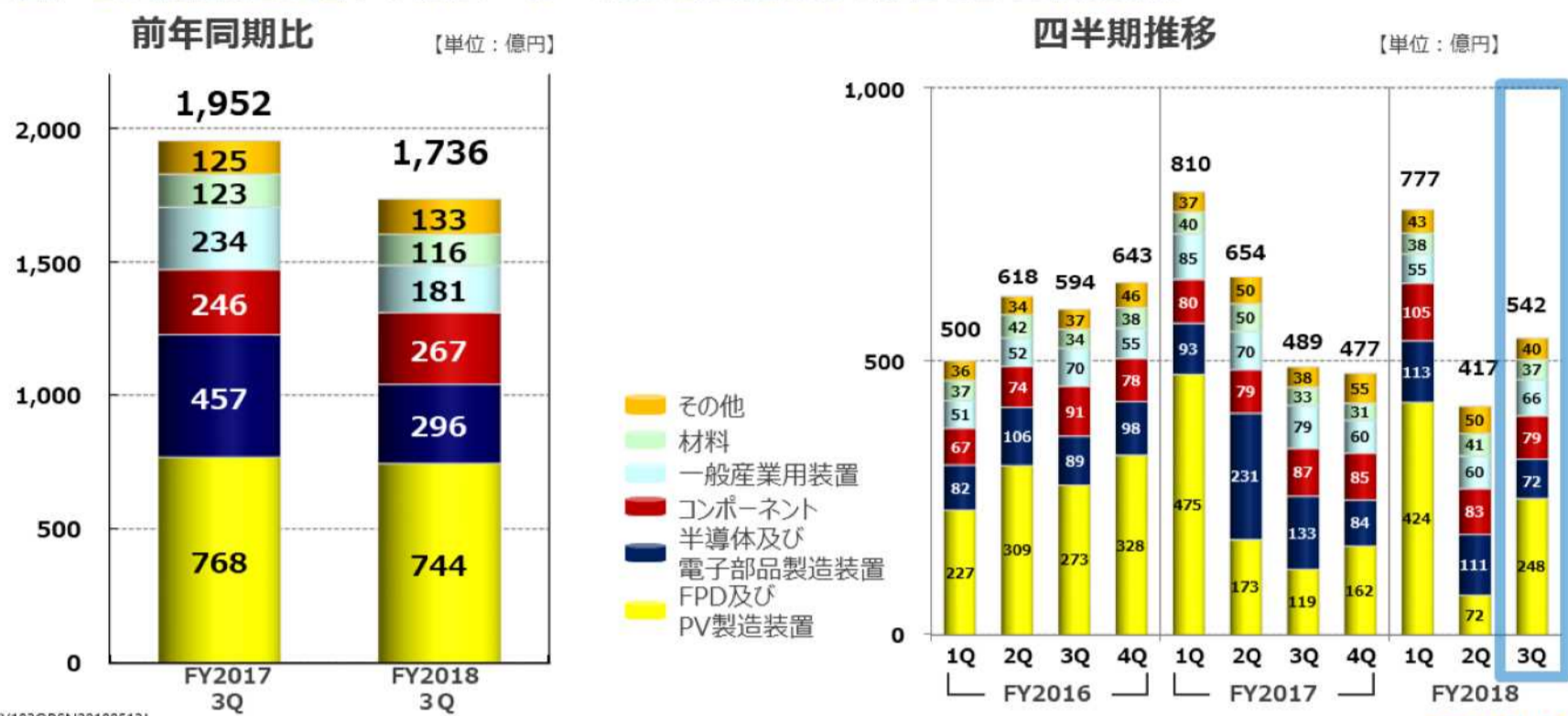
売上高は、高水準であった前年同期の売上の反動および半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により1,689億円となり、前年同期比11%の減少となりました。

営業利益は売上高減少の影響等により219億円となり、前年同期比26%の減少となりました。

投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は173億円となり、2019年6月期通期の親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正しました（P9にてご説明）。

2018年度3Q(累計)連結業績概要 (品目別受注高)

- FPD・PV製造装置：中国向けスマートフォン用OLED製造装置の量産ライン継続受注も寄与し、3Q累計で前年同期並みの水準を維持
- 半導体・電子部品製造装置：半導体メーカーの投資計画延期等の影響で前年同期比減少



品目別受注高については、半導体・電子部品製造装置は、半導体メーカーの投資計画延期等の影響で前年同期の457億円から296億円に減少しました。

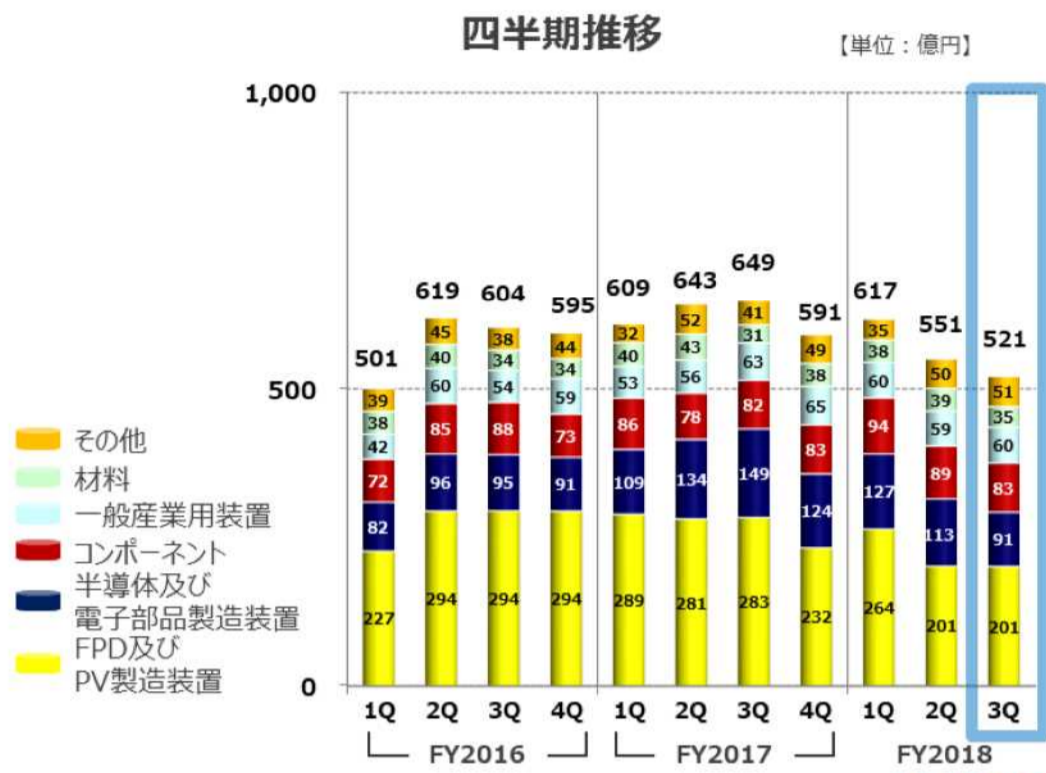
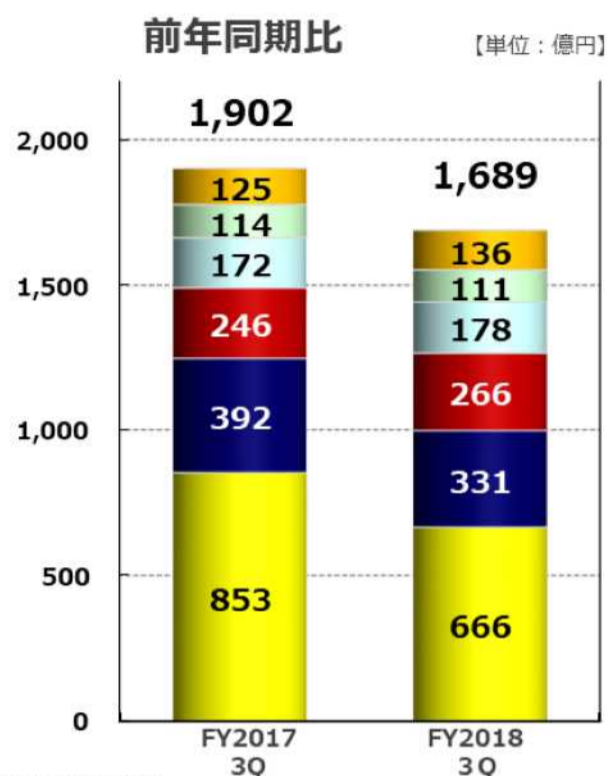
今上期に初めて参入したロジック分野では、2社目の半導体メーカーでも採用が決まりましたので、来期以降、徐々に半導体関連の受注増に貢献するものと考えています。

FPD・PV製造装置は、中国向けスマートフォン用OLED製造装置の量産ラインの継続受注も寄与し、前年同期並みの受注水準を維持しました。

3Q連結受注累計（1,736億円）では、高水準であった前年同期（1,952億円）を下回りましたが、四半期ベース（542億円）では、FPD製造装置を中心に、前年同期比（489億円）・2Q比（417億円）ともに上回りました。

2018年度3Q(累計)連結業績概要 (品目別売上高)

- FPD・PV製造装置：大型TV向けLCD製造装置やスマートフォン向けOLED製造装置が寄与するも前年同期比減少
- 半導体・電子部品製造装置：半導体向けは前年同期比減少も、電子部品向けは堅調



6

FY183QPSN20180513J

© 2019 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

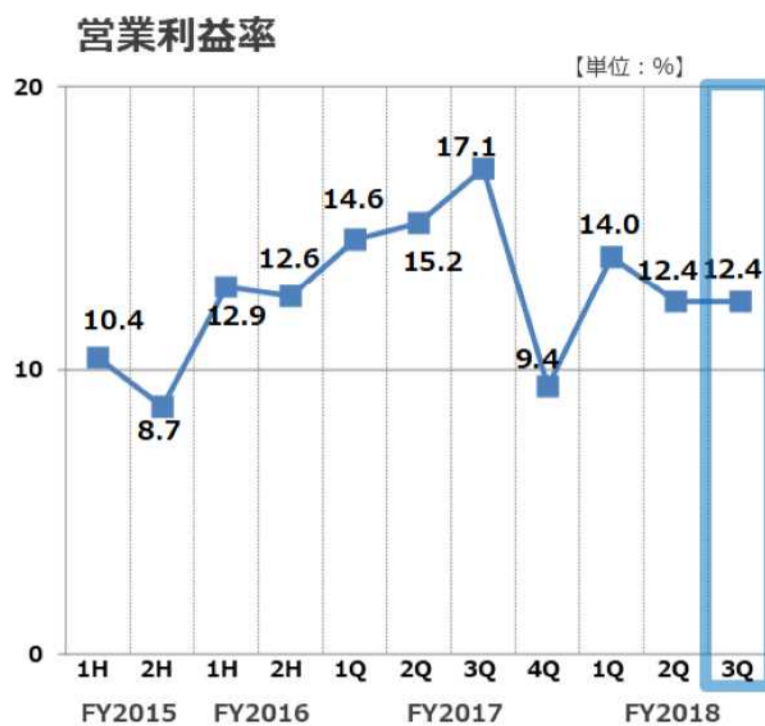
ULVAC

品目別売上高は、FPD関連では、大型TV向けLCD製造装置や、スマートフォン向けOLED製造装置が寄与しましたが、高水準だった前年同期比では減少しました。

半導体・電子部品製造装置は、半導体向けがメモリ投資の延期の影響等で前年同期比減少しましたが、電子部品向けは通信デバイスやパワー半導体向けを中心に堅調に推移しました。

2018年度3Q(累計)連結業績概要 (利益率)

- 売上総利益率は高水準を維持、営業利益率は横ばい



7

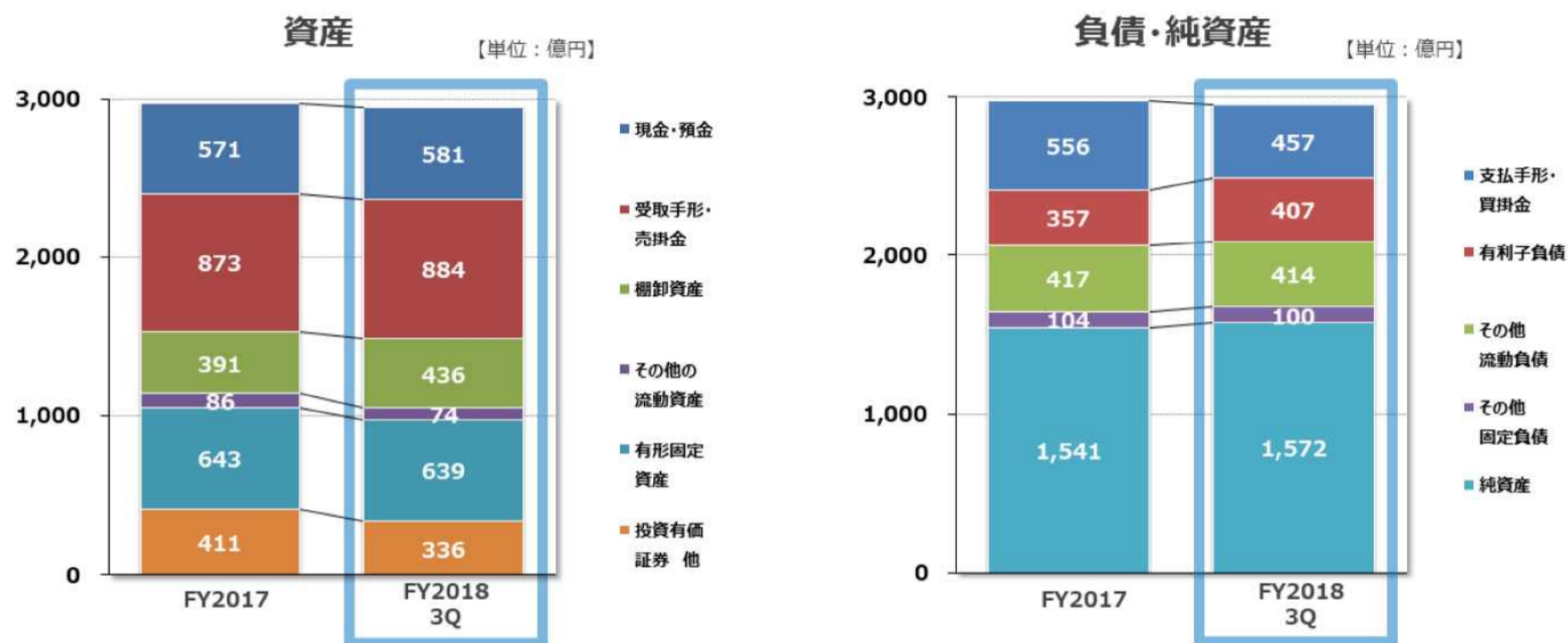
FY183QPSN20180513J
© 2019 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

売上総利益率は高水準を維持しており、営業利益率も横ばいとなっています。

2018年度3Q(累計)連結業績概要 (連結貸借対照表)

- ・棚卸資産45億円増加、支払手形・買掛金99億円減少、有利子負債51億円増加
- ・純資産32億円増加により、自己資本比率は51.1%に改善



8

FY183QPSN20180513J

© 2019 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しています。

ULVAC

貸借対照表では、棚卸資産が45億円増加、支払手形・買掛金が99億円減少し、有利子負債が51億円増加しました。純資産は32億円増加し、自己資本比率は51.1%に改善しました。

2018年度通期業績予想の修正

- 3Qに投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正
- 売上高や他の利益項目、期末配当予想に変更なし

【単位：億円】

	(参考) 2017年度 通期実績	2018年度		
		従来予想※	通期 今回予想	前年同期比
受注高	2,430	2,250	2,250	-7.4%
売上高	2,493	2,250	2,250	-9.7%
営業利益	354	235	235	-33.5%
率	14.2%	10.4%	10.4%	- 3.7 pt
経常利益	369	250	250	-32.3%
率	14.8%	11.1%	11.1%	- 3.7 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	359	160	175	-51.3%
率	14.4%	7.1%	7.8%	- 6.6 pt

修正無し

今回修正

※2019年2月13日公表値

9

FY183QPSN20180513J

© 2019 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

本日、2018年度通期の業績予想の修正を公表させていただきました。

具体的には、3Qに投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益を、従来（2月13日公表）の160億円から175億円に上方修正しました。

売上高・その他の利益項目、期末配当予想については、特に変更なく、従来予想通りを見込んでいます。

トピックス 「健康経営優良法人2019」に認定

株式会社アルバック：

「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」大規模法人部門に昨年に続き認定。

アルバック販売株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 小出寿生）：

「健康経営優良法人2019」中小規模法人部門に認定。

体力年齢測定会やウォーキング企画、構内駅伝大会などの活動を健康保険組合と共に推進。社員一人ひとりが心身ともに健康で活気にあふれ、自らの能力を最大限に発揮できるよう、健康経営への取り組みを継続・発展させていく。



ESG・CSRの観点では、昨年に引き続き
「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」
大規模法人部門で認定を受けました。

また、グループ会社のアルバック販売株式会社も
「健康経営優良法人2019」中小規模法人部門で認定を受けました。

引き続き、社員一人ひとりが心身ともに健康で活気にあふれ、
自らの能力を最大限に発揮できるよう、
健康経営への取組を継続・発展させていきたいと考えております。

さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



Automobile
自動車



Semiconductor
半導体



Flat Panel Display
フラットパネルテレビ



Photovoltaic
太陽電池



Food Processing
食品



Aircraft
航空



Bio
バイオ



Smart Phone
スマートフォン



Magnetic Device
磁気デバイス



Home Appliance
家電製品



Aerospace
宇宙産業



Pharmaceutical
医療・薬用



Wearable/VR
ウェアラブル/VR



Power Device
パワーデバイス



MEMS Device
MEMS デバイス



Architectural Glass
建材・スマートガラス



Optical
光学



Flexible
フレキシブル



Packaging Materials
パッケージング



Next Generation Light
次世代照明

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる
ULVAC